

2020年12月期 決算説明資料

2020.1.1 — 2020.12.31

DATE 2021.2.12

Contents

1	2020年12月期の決算概要	02P
2	中期経営方針（2021-23）	11P
3	2021年12月期の業績予想	24P
4	トピックス	30P
	Appendix	

1 2020年12月期の決算概要

業績

営業利益は予想を超過したが、前期比では減収減益

売上収益 21,162百万円（予想比-0.6%、前期比-6.3%）

営業利益 4,135百万円（予想比+6.0%、前期比-8.6%）

営業活動

オンラインと対面を併用した営業活動を実施し、顧客企業におけるDXの浸透を推進

顧客数は純増している一方、第2四半期から第3四半期にかけて商談期間が長期化

顧客状況

自動車系 : 車検や法定点検の需要があり、総じて経営環境は安定
整備の高度化対応やデジタル行政への適応にも積極的

非自動車系 : 旅行業や観光バス業は、依然として厳しい経営環境

OTRS : 製造業やサービス業では、作業分析ツールへの投資優先度が低下

商談長期化の影響が大きく、減収減益で着地

(百万円)	FY2020	FY2019	増減額	増減率
売上収益	21,162	22,586	-1,424	-6.3%
プラットフォーム	10,275	10,192	+83	+0.8%
アプリケーション	10,887	12,394	-1,507	-12.2%
営業利益	4,135	4,525	-390	-8.6%
税引前利益	3,820	4,486	-665	-14.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,465	3,093	-628	-20.3%
基本的 1 株当たり当期利益	28.16円	35.40円	-	-

顧客数（ストック）に比例する売上が増加、ソフトウェアの年間販売数（フロー）に連動する売上が減少

(百万円)		FY2020	FY2019	増減額	増減率
基本		7,616	7,654	-38	-0.5%
PaaS/SaaS		5,365	5,542	-177	-3.2%
	一括	2,365	2,735	-370	-13.5%
	月額	3,000	2,807	+193	+6.9%
IaaS	月額	2,251	2,113	+139	+6.6%
EDI・決済		905	920	-15	-1.6%
PSF *	月額	554	603	-49	-8.1%
BLP/CPT *	月額	351	317	+34	+10.8%
サポート		1,596	1,478	+119	+8.0%
保守	月額	878	708	+170	+24.0%
サプライ品	一括	719	770	-51	-6.6%
その他	-	157	140	+17	+11.8%
プラットフォーム合計		10,275	10,192	+83	+0.8%

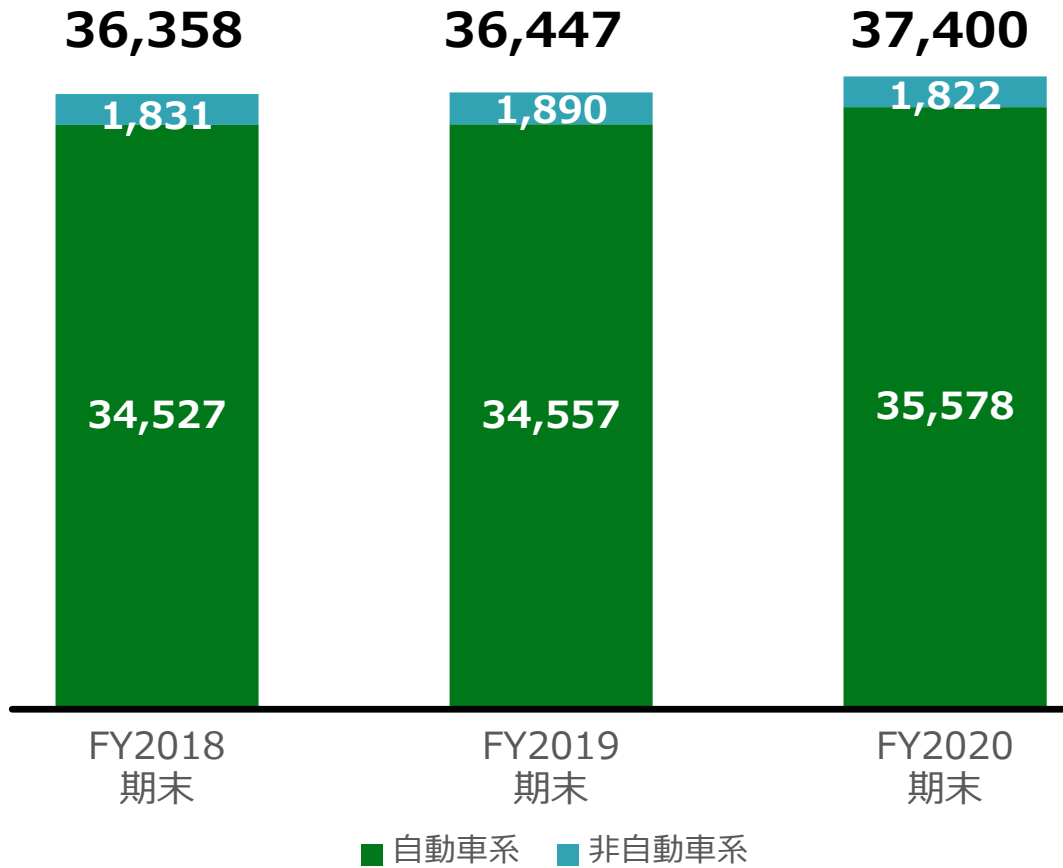
* PSF：自動車リサイクル部品取引ネットワーク「パーツステーションNET」での決済代行手数料 BLP：「BLパーツオーダーシステム」の利用料 CPT：「CarpodTab」の利用料

自動車系は、商談長期化を背景に年間販売数（フロー）は減少したが、顧客数（ストック）は純増
非自動車系とOTRSは、案件凍結も影響

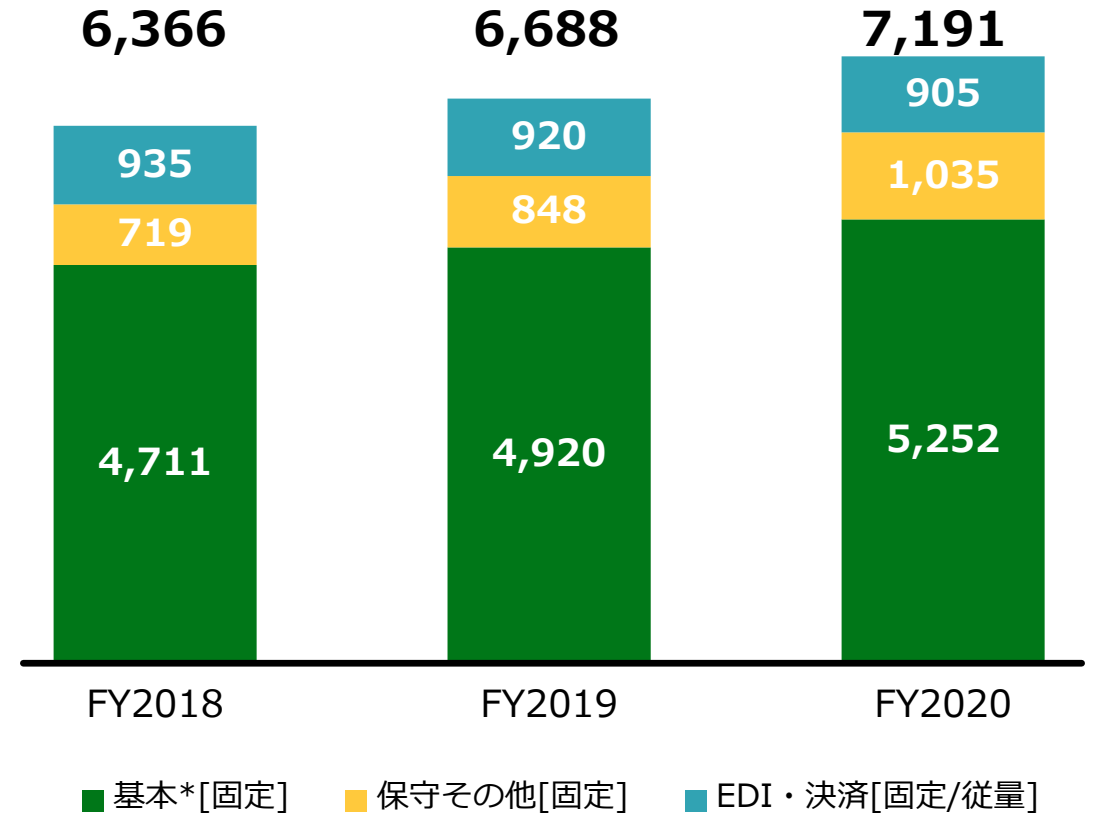
(百万円)	FY2020	FY2019	増減額	増減率
業種別	8,806	10,448	-1,642	-15.7%
自動車系	7,545	8,874	-1,329	-15.0%
非自動車系	1,261	1,574	-312	-19.8%
OTRS	204	338	-134	-39.7%
その他	1,877	1,608	+269	+16.7%
アプリケーション合計	10,887	12,394	-1,507	-12.2%

前期比減収の2020年においても顧客数（法人数）は増加、それに伴い月額売上は増加

顧客数（法人数）の推移

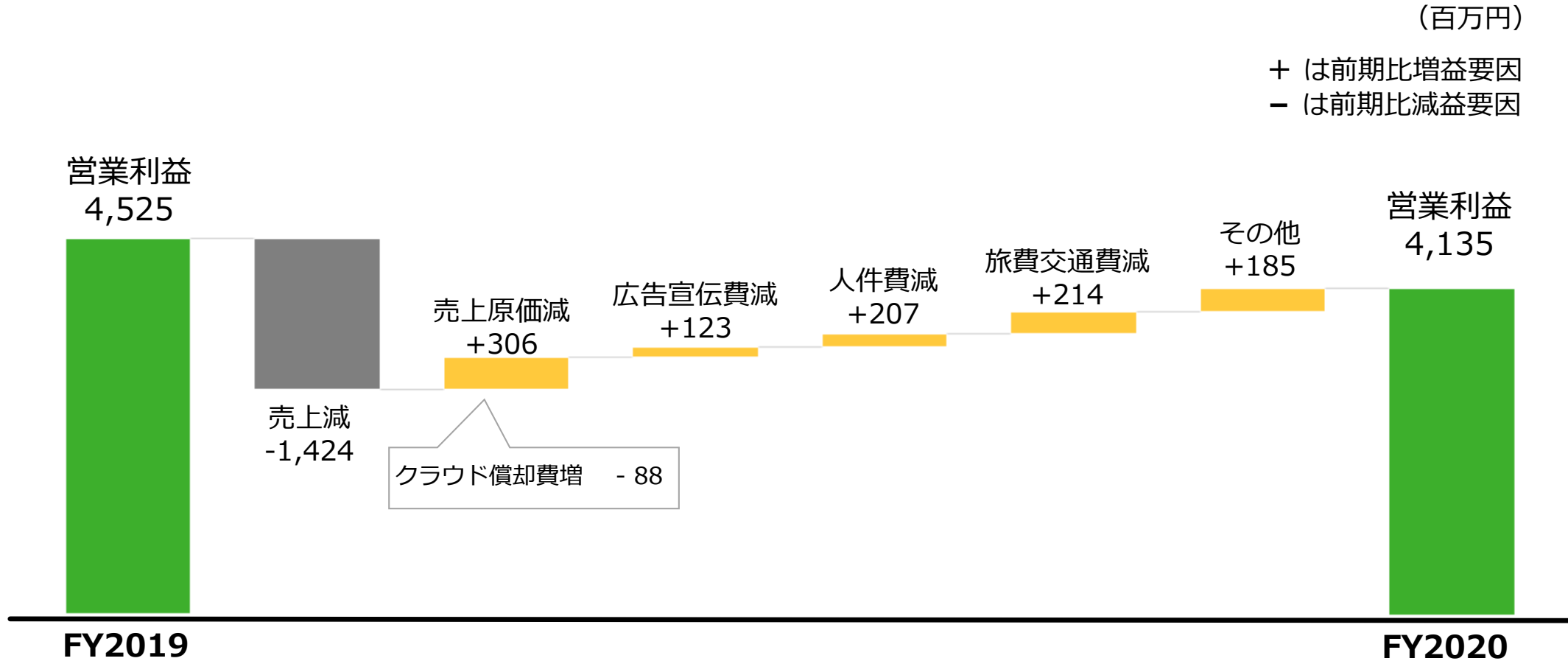


月額売上の推移（百万円）



*プラットフォーム基本の PaaS/SaaS（月額）とIaaSの合計

機器販売の大口案件やクラウドの償却負担増で、売上原価の低下は限定的、
営業関連費用の圧縮等コストコントロールを実施



クラウド開発投資により無形資産が増加

(百万円)	FY2020 期末	FY2019 期末	増減額	主な増減内訳
流動資産	7,752	7,987	-235	現金及び現金同等物 +199 営業債権及びその他の債権 -502
非流動資産	24,522	23,702	+820	無形資産 +1,528 その他の金融資産 -532
資産合計	32,274	31,689	+585	
流動負債	6,432	7,100	-668	契約負債 -439
非流動負債	1,239	1,369	-130	長期有利子負債 -146
負債合計	7,671	8,469	-797	
資本合計	24,602	23,220	+1,383	当期利益の計上 +2,465 配当支払 -1,146
負債及び資本合計	32,274	31,689	+585	

投資のコントロール等によりフリー・キャッシュ・フローが増加

(百万円)	FY2020	FY2019	増減額	主な増減内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,056	3,762	+1,294	営業債権及びその他の債権の減少 +340 営業債務及びその他の債務の減少 - 226 法人所得税等の支払額の減少 +510
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,774	-3,990	+1,216	無形資産の取得による支出の減少 +532 投資の取得による支出の減少 +1,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	-2,084	-2,366	+281	長期借入金の返済による支出の減少 +316
フリー・キャッシュ・フロー	2,283	-228	+2,510	
現金及び現金同等物の期末残高	3,232	3,034	+199	

2 中期経営方針



基本方針

企業としての安定だけではなく、高成長企業への進化を目指す



アプローチ

コアビジネスである業務ソフトウェア事業での収益向上策と、新規領域における事業創出策を、引き続き並行して実施する



成長機会



オンライン/リモート/
デジタル行政

企業によるIT投資増



新しい車検制度や整備技術

カーメンテでの高度IT化



多様なプレイヤーの参入

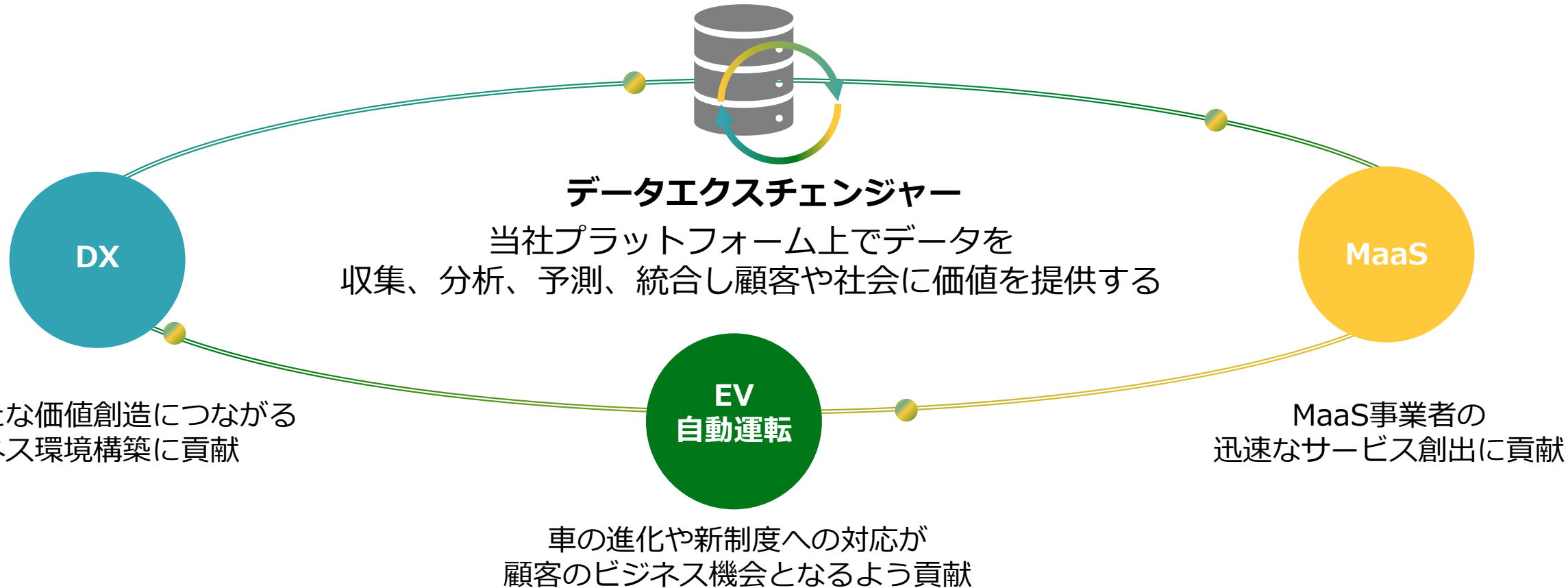
サービス提供基盤の需要増



2021-23年の 取組テーマ

『2つのDX』

- ①当社顧客のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進
- ②データエクステンジャー（DX）として、当社サービス基盤を高付加価値化



重点施策

施策 1

クラウド版 新モデルの市場投入

ソフトウェア事業における
運営効率が向上し、
マージンが上昇

直接効果 (当社)

間接効果 (顧客)

当社顧客が、新車検制度や車の
進化に伴う整備・点検需要を取
り込むことができる



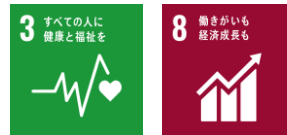
EV/PHV対応により
環境配慮車両の普及を後押し

施策 2

DXソリューションの強化

ソフトウェア事業に
相乗効果をもたらし、
顧客あたり売上が増加

当社顧客が、DX導入を契機に
コンシューマ接点を増やし
事業機会を拡大できる



新しいワークスタイルの
浸透を促し
労働生産性向上を支援

施策 3

EDI拡張と受発注プラット フォームのオープン化

プラットフォームの
利用者が増加し、
月額固定・従量売上が増加

当社顧客が、
自動車補修部品や多様な商品を
一元的に取引できるようになり、
経営効率向上につながる



リサイクル品の
円滑な取引の仕組みを構築し
天然資源の効率的な利用を支援

施策 4

MaaS プラットフォームの展開

新領域での事業化を通じ、
新たな収益源を創出
(海外を含む)

MaaS事業者が、当社事業パート
ナー（3rdパーティ）の
サービスを利用し、
事業の早期立ち上げにつながる



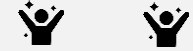
生活利便性の向上や
移動格差の解消のほか
環境負荷低減を後押し

社会効果

全てのサービスを同一プラットフォームで構築することで、利便性の向上と開発・運用面での効率化を図る

コンシューマ

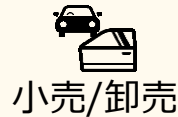
モビリティサービスの利用者/カーオーナー



ユーザー企業
(サービサー)



メンテナンス



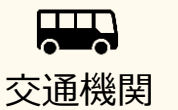
小売/卸売



配送/輸送



シェアリング



交通機関

アプリケーション層

施策 1

クラウド版
新モデルの市場投入



業務系
(.cシリーズ)

施策 3

EDI拡張と
受発注プラットフォーム
のオープン化



受発注
プラットフォーム

施策 2

DXソリューションの強化

Google Cloud



X社

...

グループウェア
(Google Workspace *)

施策 4

MaaSプラットフォームの展開

Zenmov Inc.



Y社



...

運行管理
プラットフォーム

Broadleafブランドのサービス

API

3rdパーティサービス

インフラ層

IT基盤

データ

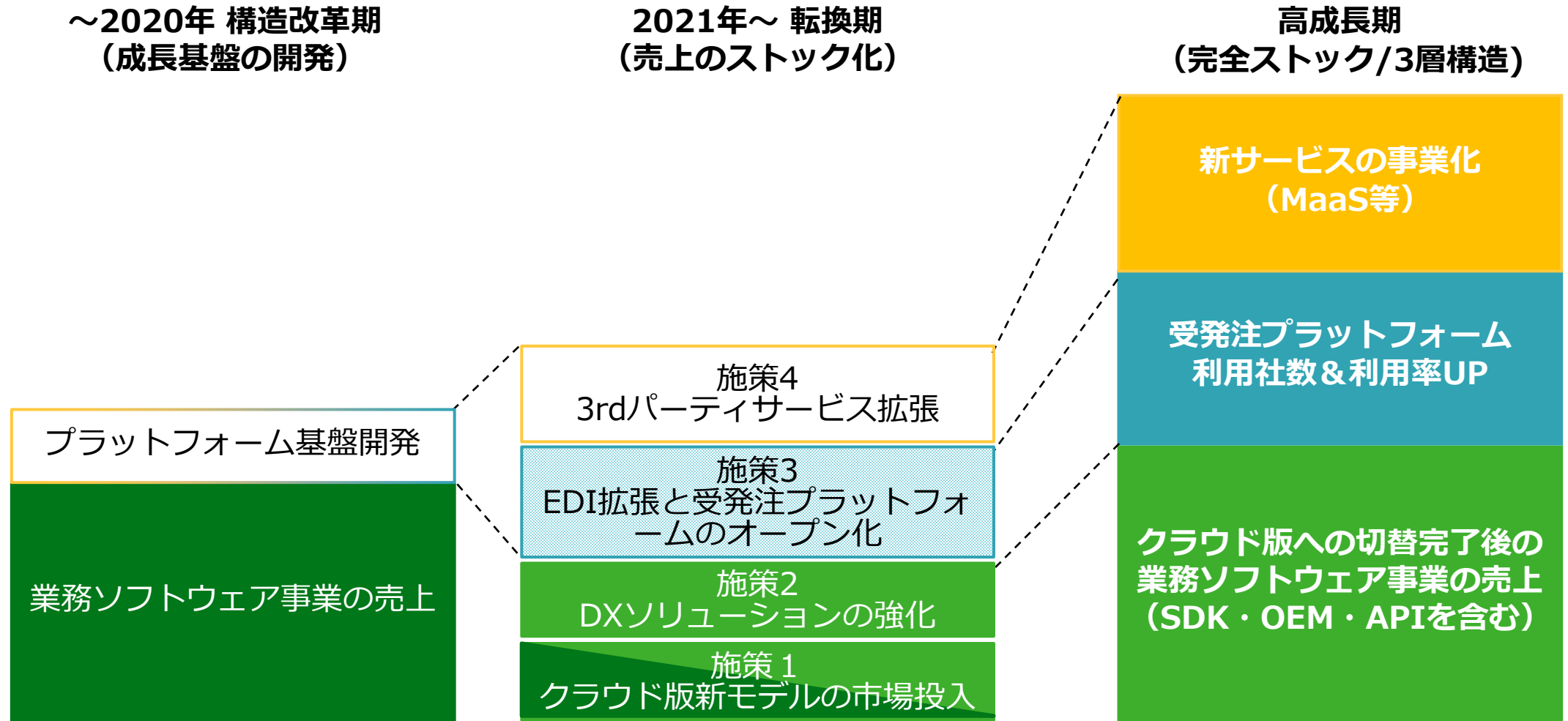
共通機能

EDI
(拡張ゲートウェイ)

* Google Workspace は現在準備中

Broadleaf Cloud Platform

2021-23年は、クラウド版の市場投入（施策1）で、期間収益は一時的に低下するものの、並行してDXソリューションの強化（施策2）、さらには高成長に向けた取組を継続する（施策3、施策4）

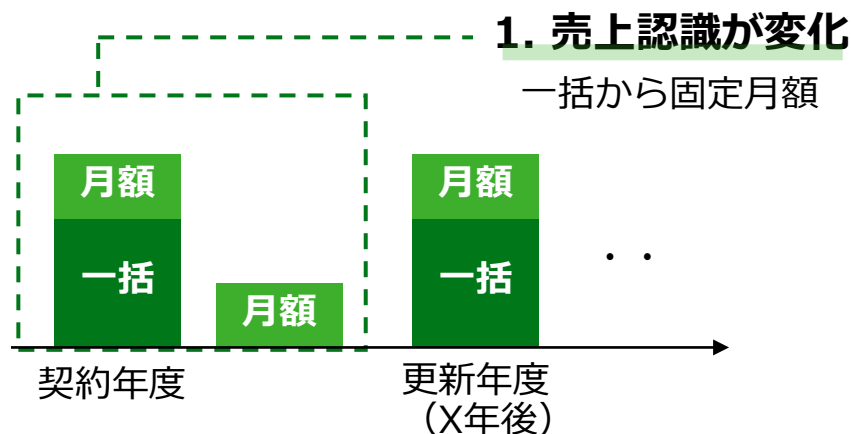


新モデルのソフトウェアでは機能・UIの向上だけでなく、売上モデル自体が大きく変化する

顧客あたりソフトウェア売上の変化イメージ

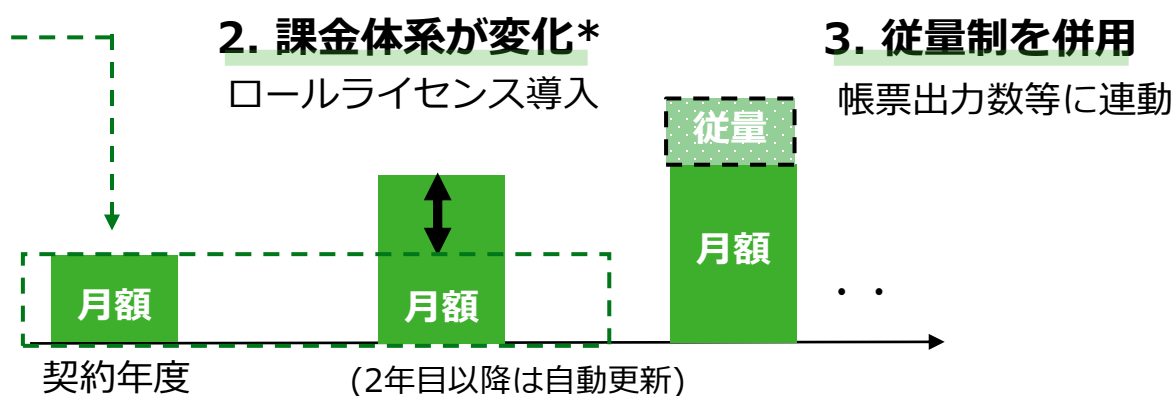
現行モデル「.NSシリーズ」

ソフトX年利用料(一括) + DB他利用料(固定月額)



クラウド版新モデル「.cシリーズ」

基本利用料(固定月額) + ロール利用料 (固定月額) × ID数 + 従量料金(従量月額)



*課金体系

ソフトライセンス + DB他



1ライセンスを交代で利用

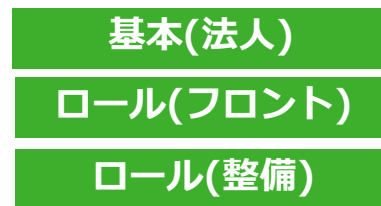


フロント担当



整備 & フロント担当

基本ライセンス + ロールライセンス × ID数



IDに紐づくロールを同時に利用



ID フロント担当



ID 整備 & フロント担当

特定大手にモジュール（API）として提供開始すると共に、Web経由で契約、導入できる仕組みとすることで、ソフトウェア顧客セグメントを拡大する

セグメント拡大策

移行スケジュール

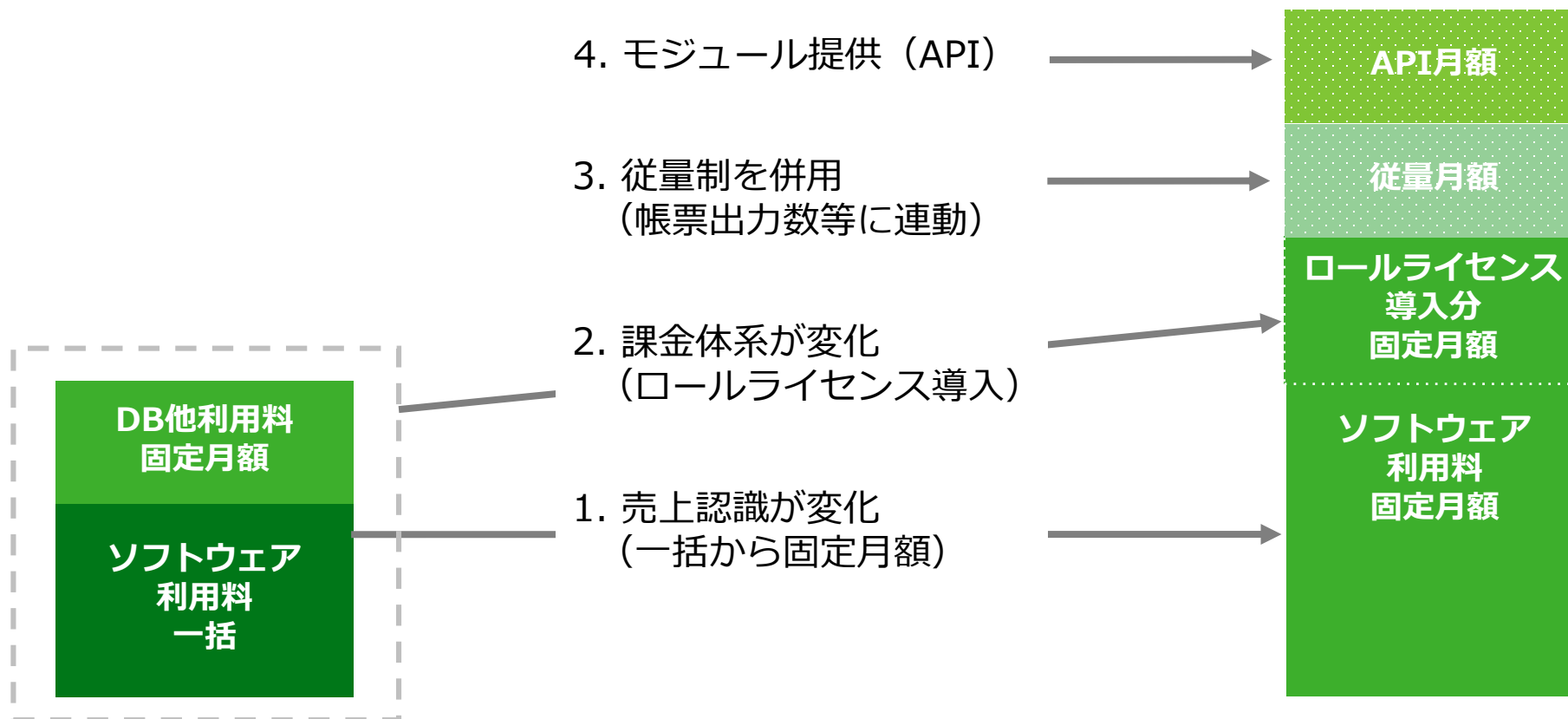
	現行モデル	クラウド版新モデル		FY2021		FY2022		FY2023	
		商品	販売チャネル	上期	下期	上期	下期	上期	下期
特定大手	パッケージ提供 カスタマイズは 限定的に対応	モジュール提供（API） 3rdパーティによる アドオン開発（SDK提供）	・自社 ・3rdパーティ	展開					
SS/ 未導入先*	未導入先は 対象外	事業規模等に合わせた 機能限定版	・Web ・3rdパーティ ・自社	一部展開 （対象限定）	展開（全対象）				
中～大規模	営業活動で 他社リプレイス	各業種向け標準（全機能）版 同業他社へOEM提供	・自社 ・同業他社	開発	一部展開 （対象限定）	展開（全対象）			

*SSはガソリンスタンド、未導入先は業務ソフトウェアを導入していない事業者
注）外部環境等によりスケジュールを変更する可能性があります

クラウド版新モデル「.cシリーズ」では、売上認識が月額に変化するだけでなく、
ロールライセンスの導入、新たな従量制の併用、モジュールでの提供をあわせた売上モデルとなる

現行モデル「.NSシリーズ」

クラウド版新モデル「.cシリーズ」



業務ソフトウェアにDX系機能を追加すると共に、DXツールを合わせて提供する

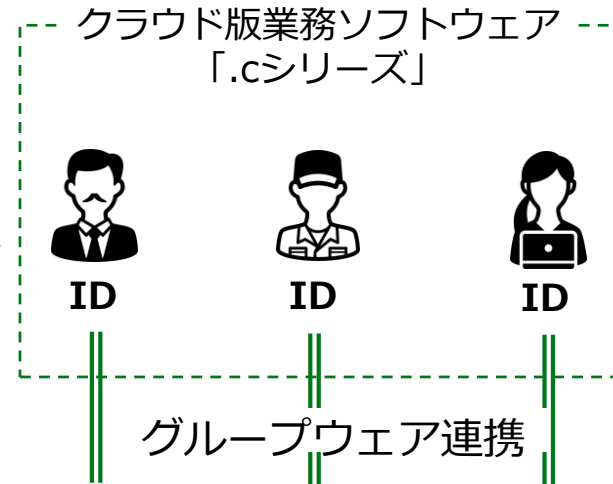
行政対応

オンライン機能の利用を促進し
デジタル行政対応をサポート



ワークスタイル

クラウド版業務ソフトウェアの
個別IDと連携し効率化をサポート



カスタマーリレーション

業務ソフトウェアと連携し
デジタル集客をサポート

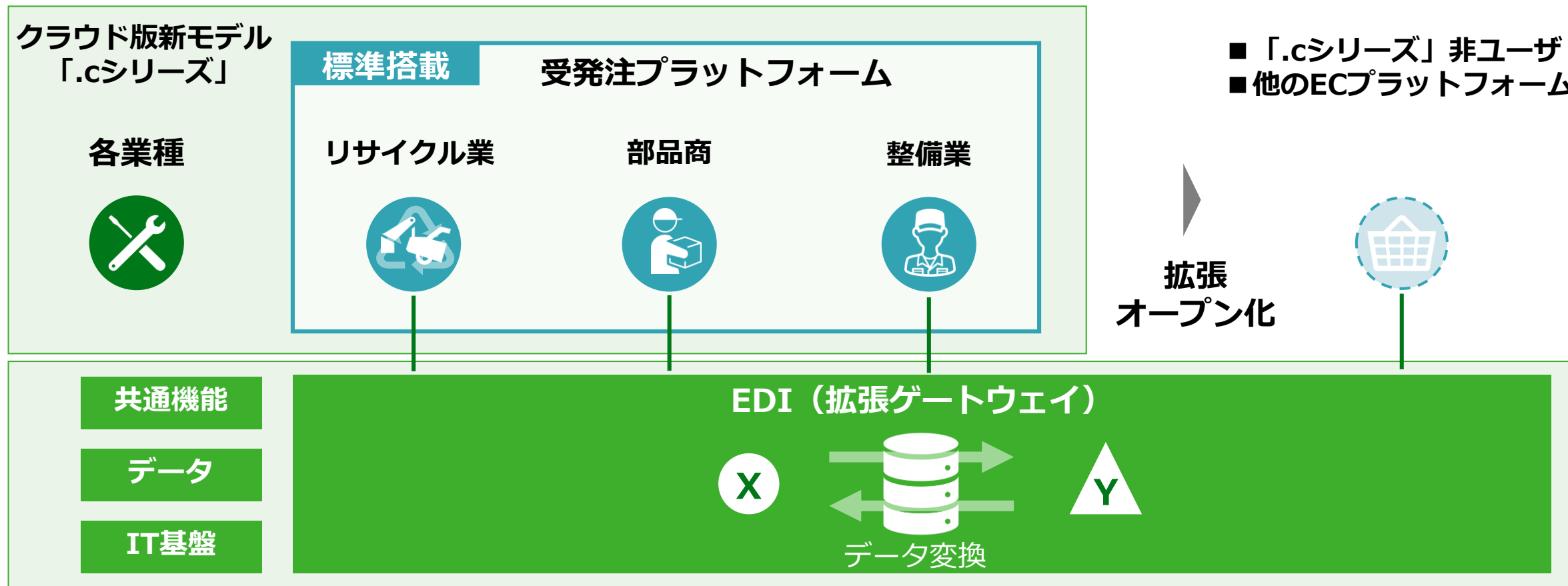


*OSS (ワンストップサービス)

自動車保有に関する行政手続きや、自動車税、検査登録手数料等の納付をまとめてオンラインで申請できるサービス

** Google Workspace は現在準備中

クラウド版新モデル「.cシリーズ」では、受発注プラットフォームを標準機能として搭載
さらに、取引参加者をオープン化するなどの拡張策を実施する



Broadleaf Cloud Platform

2021年1月から、フィリピンの公共交通機関（MaaS事業者）向けにサービスメニューの提供を開始
汎用的な機能モジュールを順次サービスメニュー化し、幅広いMaaS事業者に展開する

提供先

提供中のサービス



拡大



シェアリング



配送/輸送



新交通インフラ



メーカー



金融・決済



エネルギー

Zenmov Inc.

新公共交通の運行管理アプリケーション

⇒公共交通の運営事業者が利用（2021年1月）

メンテナンス
データ&ノウハウ

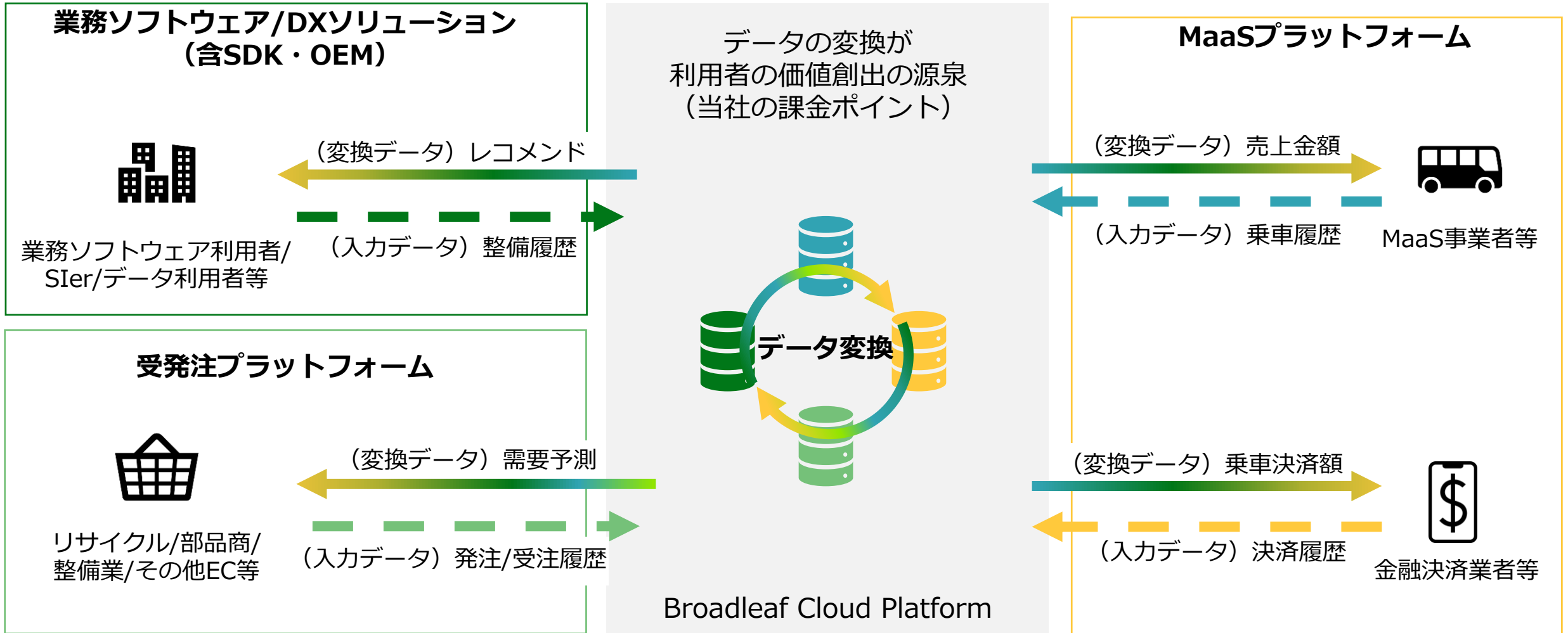


IT基盤/決済/AI/ブロックチェーン etc.

システム全体の稼働基盤、DB基盤
キャッシュレス決済基盤、車両の定期点検整備サービス

Broadleaf Cloud Platform

プラットフォーム上で変換されたデータが、データの利用者による価値創出の源泉となる



3 2021年12月期の業績予想

2021-23年の重点施策

2021年業績への影響

施策1

クラウド版新モデルの市場投入

- ・ 特定大手顧客向けのモジュール販売は、月額売上認識となるため、5億円程度の売上低下要因（LTVは低下しない）
- ・ ガソリンスタンド向けは、売上にはプラス効果だが小規模かつ月額売上認識のため売上寄与は限定的

施策2

DXソリューションの強化

- ・ 順調な販売を見込むが、月額利用型なので売上寄与は限定的

施策3

EDI拡張と受発注プラットフォームのオープン化

- ・ 改良版の投入は4Q以降となるため、増収寄与は限定的

施策4

MaaSプラットフォームの展開

- ・ MaaS向けの事業展開は始まるが、売上寄与は限定的
- ・ その他は研究開発フェーズ

アプリケーション売上の減収に加え、費用負担が先行する見込み

(百万円)	FY2021 通期予想	FY2020 通期実績	増減額	増減率	FY2021 上期予想	FY2020 上期実績	増減額	増減率
売上収益	20,100	21,162	-1,062	-5.0%	9,500	10,232	-732	-7.2%
営業利益	2,400	4,135	-1,735	-42.0%	700	1,628	-928	-57.0%
税引前利益	2,400	3,820	-1,420	-37.2%	700	1,614	-914	-56.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,550	2,465	-915	-37.1%	430	1,066	-636	-59.6%
基本的 1 株当たり当期利益	17.64円	28.16円	-	-	4.90円	12.18円	-	-

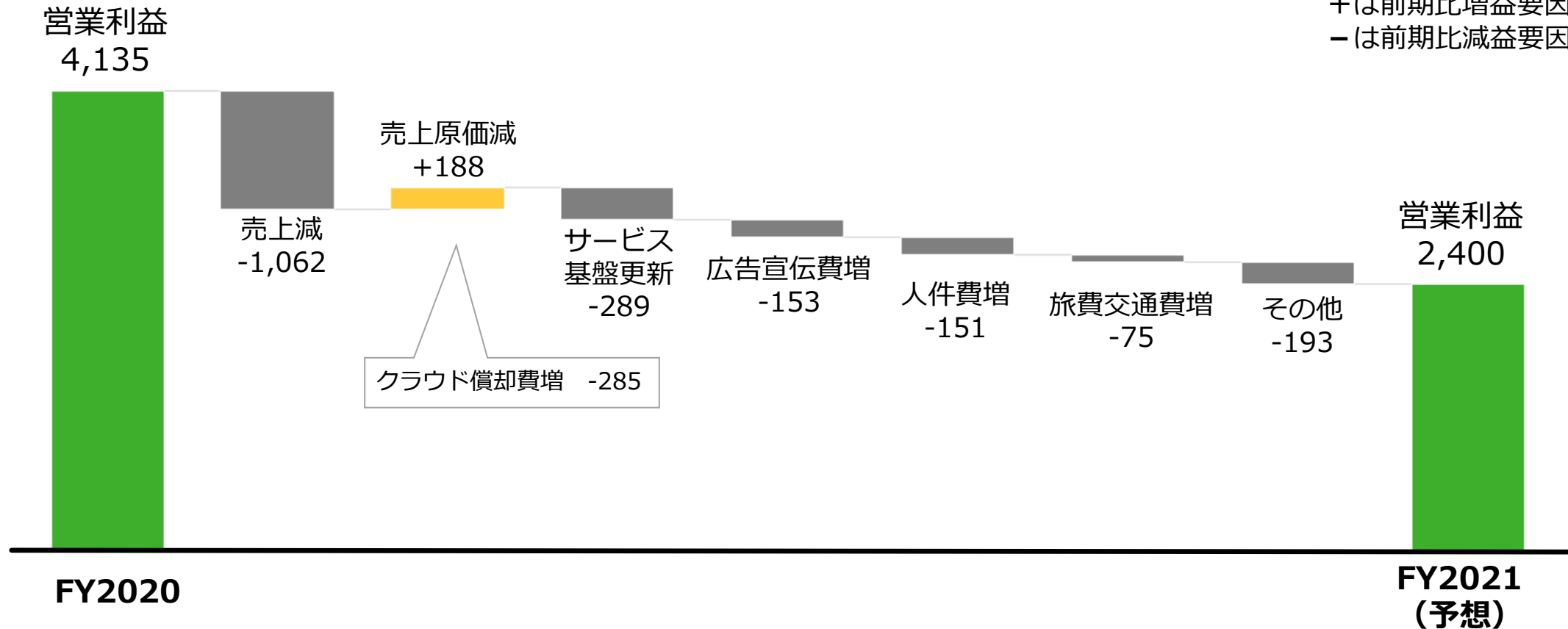
アプリケーション業種別の主な減収要因は、特定大手顧客へのクラウド先行導入に伴う計上方法の変更

(百万円)	FY2021 通期予想	FY2020 通期実績	増減額	増減率	FY2021 上期予想	FY2020 上期実績	増減額	増減率
プラットフォーム	10,400	10,275	+125	+1.2%	4,900	4,872	+28	+0.6%
基本	7,600	7,616	-16	-0.2%	3,600	3,600	-0	-0.0%
EDI・決済	920	905	+15	+1.7%	420	439	-19	-4.4%
サポート	1,700	1,596	104	6.5%	800	761	+39	+5.1%
その他	180	157	+23	+14.8%	80	72	+8	+11.7%
アプリケーション	9,700	10,887	-1,187	-10.9%	4,600	5,360	-760	-14.2%
業種別	8,050	8,806	-756	-8.6%	3,800	4,165	-365	-8.8%
OTRS	250	204	+46	+22.7%	100	132	-32	-24.0%
その他	1,400	1,877	-477	-25.4%	700	1,064	-364	-34.2%
合計	20,100	21,162	-1,062	-5.0%	9,500	10,232	-732	-7.2%

クラウドの償却負担が先行、営業関連費用も例年並みの水準に戻ると想定し増加を見込む

(百万円)

+は前期比増益要因
-は前期比減益要因



2020年12月期の期末配当は、期初予想通り1株当たり6.60円の予定

2021年12月期は、新配当政策の導入により、通期で1株当たり7.00円（中間3.50円/期末3.50円）の予想

配当政策

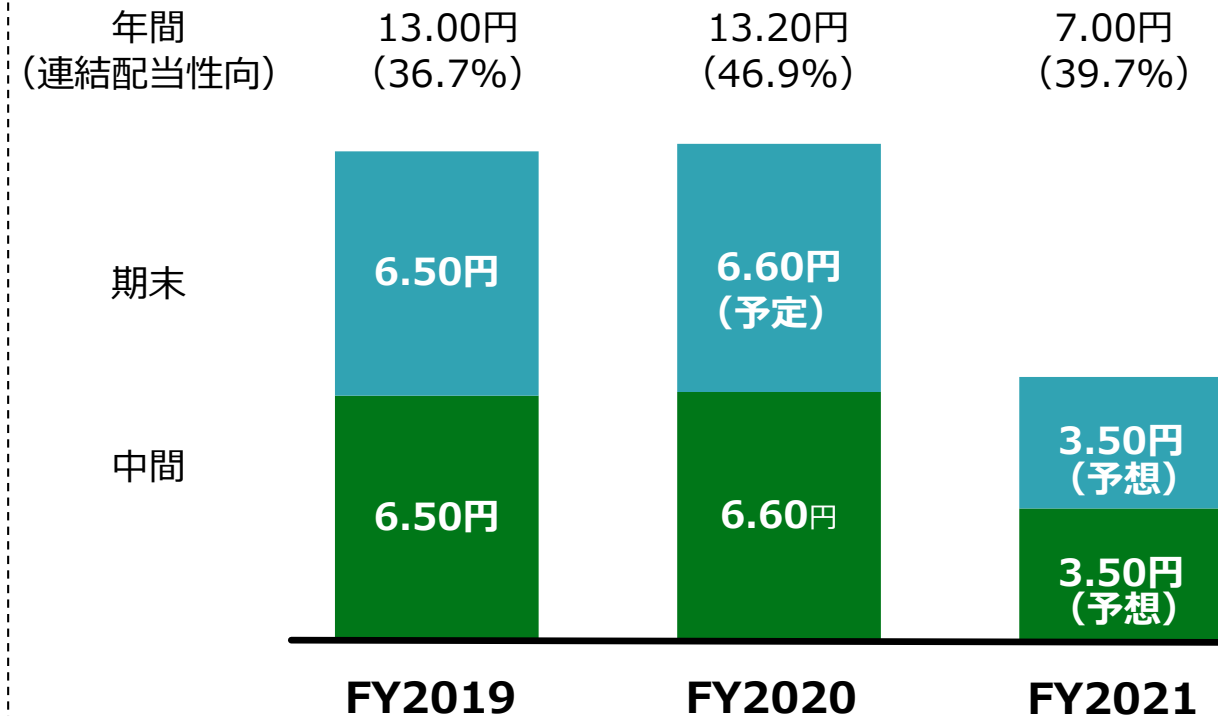
変更後)

企業価値向上のための事業展開や財務健全性の維持に必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分をおこなうことを基本方針とし、連結配当性向35%以上を目処としております。

変更前)

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保し、安定した配当を継続していくことを基本方針としており、配当性向については概ね20%を目処としております。

1株当たり配当金



4 トピックス



自動運転レベル3搭載車の型式認定を受けて緊急ウェビナーを開催（2020年12月25日）

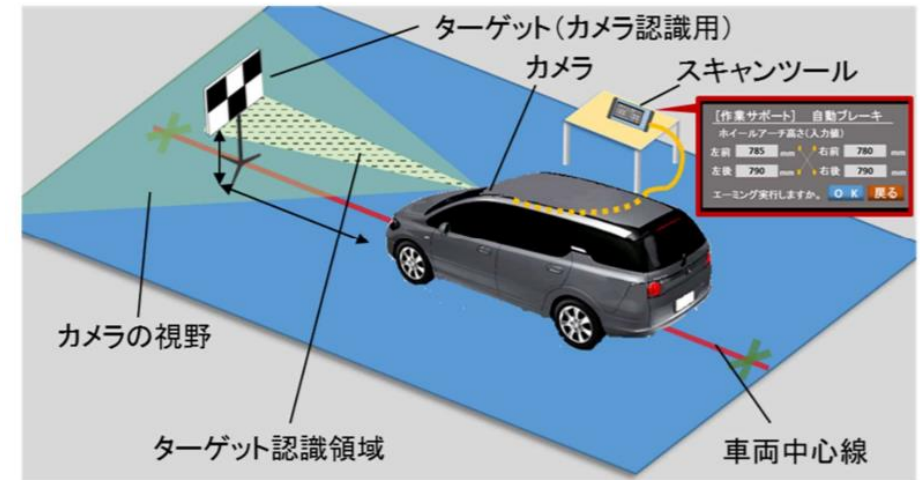
2020年11月11日（火）、国土交通省が自動運転レベル3を搭載した車両に対して世界で初めて型式認定したことを受け、大きな変革の時代を迎える自動車整備に携わる事業者のみなさまに最新の情報を提供するため、『11/11発表「ホンダ レジェンド」自動運転レベル3で自動車整備がこれだけ変わる！』と題し、緊急ウェビナーを開催しました。

自動運転レベル3搭載車発売をきっかけに起こりうる自動車社会の変化の傾向や、それに伴う行政の動向等と、2020年4月から施行された自動車特定整備制度に伴う行政の動向について、DXの観点を踏まえ最新の情報提供を行いました。

参考）特定整備制度について

自動車整備制度は、これまでのエンジンやブレーキ等を取り外して行う「分解整備」から、その範囲を取り外しを伴わなくとも装置の作動に影響を及ぼす整備又は改造等（電子制御装置整備）に拡大するとともに、対象装置として、自動運転レベル3以上の自動運転を行う自動車に搭載される「自動運行装置」を追加し、その名称を「特定整備」に改め、新たな制度として令和2年4月にスタートしました。

出典：国土交通省「自動車特定整備事業について」
https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr9_000016.html



図：電子制御装置整備の対象となる作業の例（エーミング作業）

出典：国土交通省自動車局整備課「電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習」
<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001331469.pdf>

フィリピン パサイ市で開始した新公共交通のモデル事業に参画、2021年1月15日より事業運営開始

<フィリピンが抱える交通課題>

フィリピンでは、交通渋滞が社会課題となっており、その経済損失は一日あたり35億ペソ（約76億円）にもものぼります。

今回のモデル事業を実施するパサイ市においても、駅からショッピングモールまで定時運行されている交通手段がなく、導入ニーズが非常に高いエリアです。

<モデル事業のサービス内容>

上記の課題を解決する「新公共交通」として、以下のサービスを提供します。

- Eトライシクルによる運行サービス 【提供：MC Metro】
- 効率的な運行に必要な運行管理システム 【提供：Zenmov Inc.】
- システム上のデータを分析できるデータ基盤 【提供：株式会社ブロードリーフ】
- モバイルQR決済に対応したキャッシュレス決済 【提供：Broadleaf I.T. Solutions Inc.】
- 現地訪問型での車両の定期点検整備サービス 【提供：BLISAM TRADING CORP.】

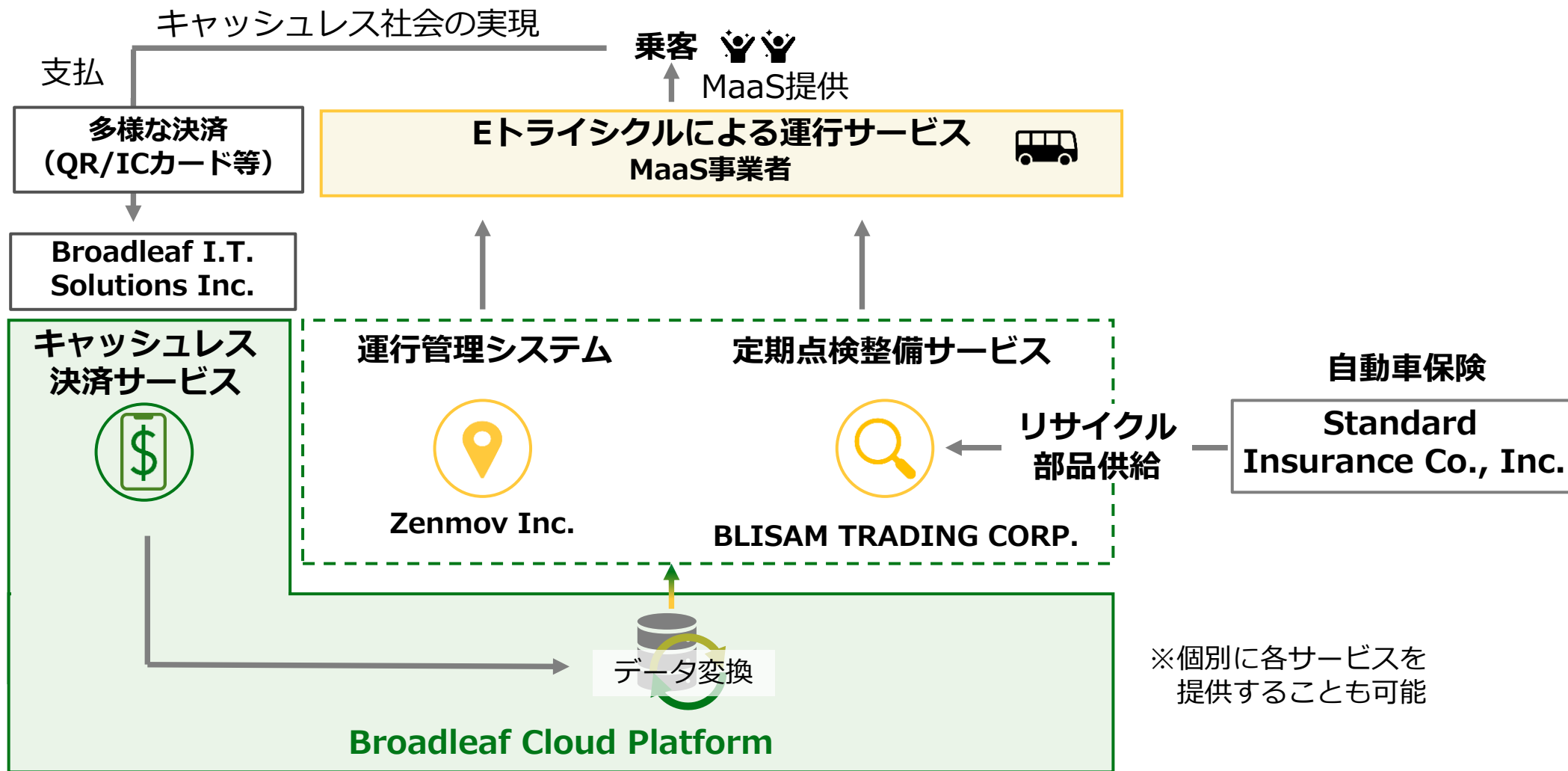


図1：Eトライシクル、決済端末の画像



図2：新公共交通モデル事業の運行ルート

ブロードリーフグループのサービスをワンストップで利用することで、MaaS事業者はスムーズな事業展開が可能
 <サービス構造>

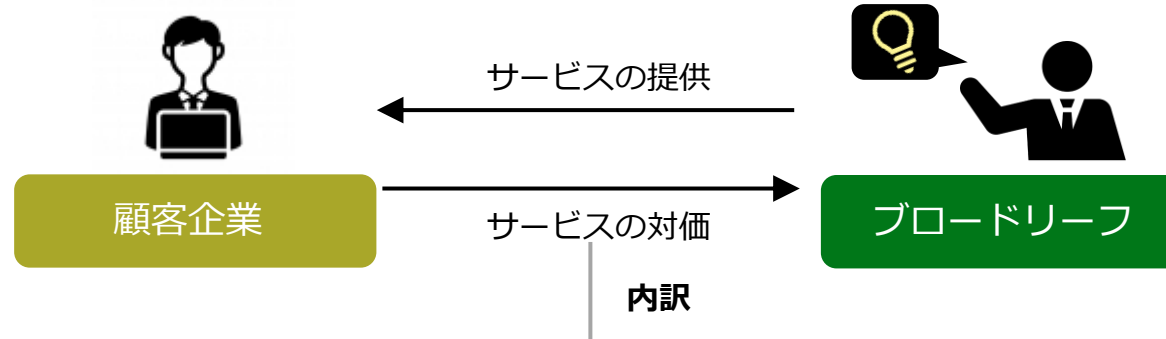


※ Broadleaf I.T. Solutions Inc. : 完全子会社/BLISAM TRADING CORP. : 持分法適用関連会社/Zenmov Inc. : 持分法適用関連会社/Standard Insurance Co., Inc. : 提携先

Appendix

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (3673)
業種	情報・通信業
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円 (連結)
事業年度	1月1日から12月31日まで
事業内容	自社開発の業務ソフトウェアをはじめ各種 I Tサービスを幅広く展開。 カーアフター産業に属する事業者向けを中心に、基幹システムとなる業務ソフトウェアを提供するほか、自動車部品の受発注プラットフォームやビッグデータ分析等、多様な独自サービスをワンストップで提供。 また、今後のモビリティ社会の進化を見据え、先端技術の実用化に関する調査研究を推進中。
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
国内拠点	全国 営業29拠点 開発3拠点
主な子会社	株式会社タジマ

顧客企業に対して、業務ソフトウェアを含む複数のサービスをワンセットで提供



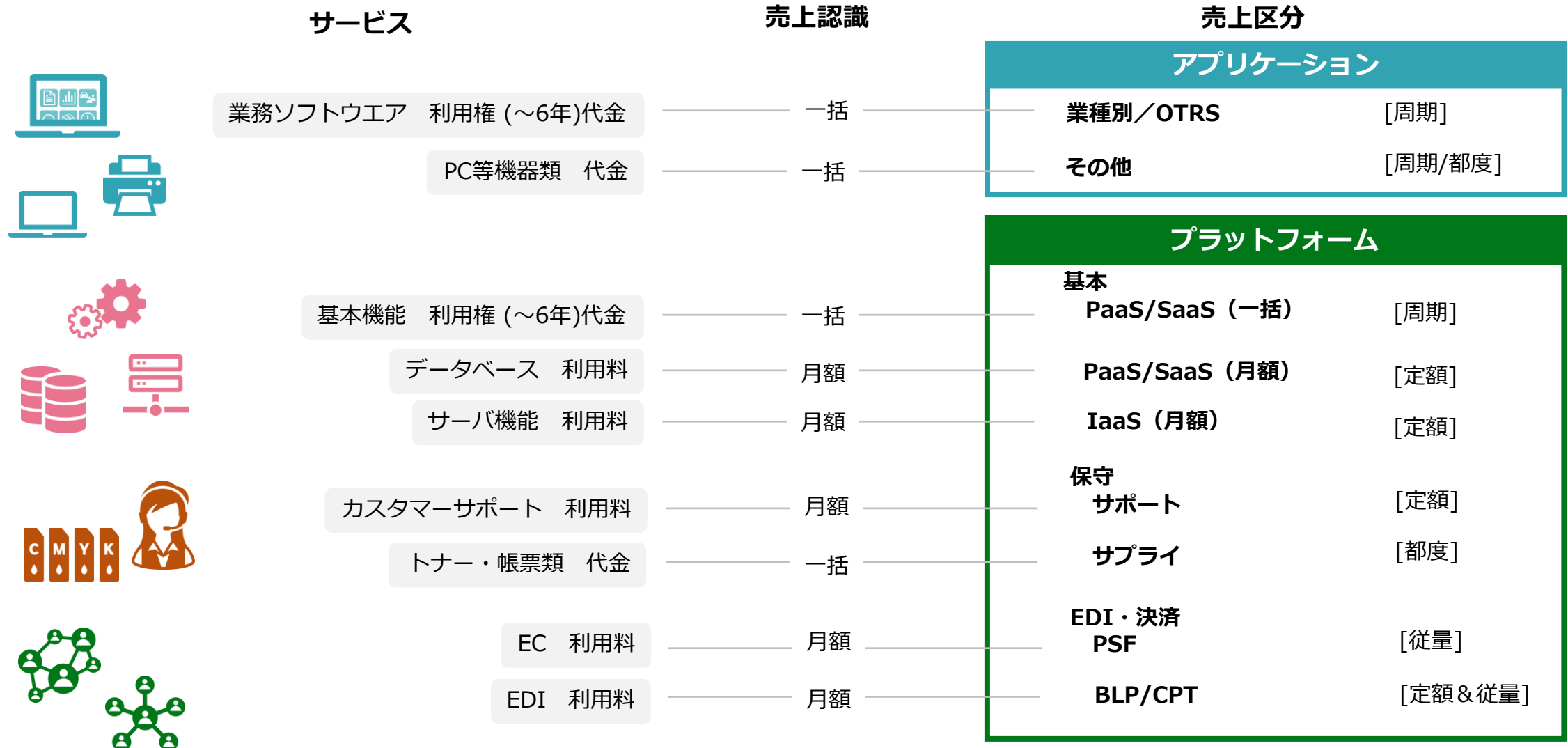
	必須	必須	必須	必須	任意 +2	任意	任意	任意	任意
サービス名称	業務ソフト	業務ソフト (基本機能)	データベース	サーバ機能	カスタマーサポート	インクナー帳票類	自動車リサイクル部品EC	自動車部品EDI	PC等機器類
対価属性	利用権 購入代金 *1	利用権 購入代金 *1	利用料	利用料	利用料	商品 購入代金	利用料	利用料	商品 購入代金
売上認識	一括	一括	月額	月額	月額	一括	月額	月額	一括

*1 利用権は最長6年

*2 2019年後半から契約率向上策を強化

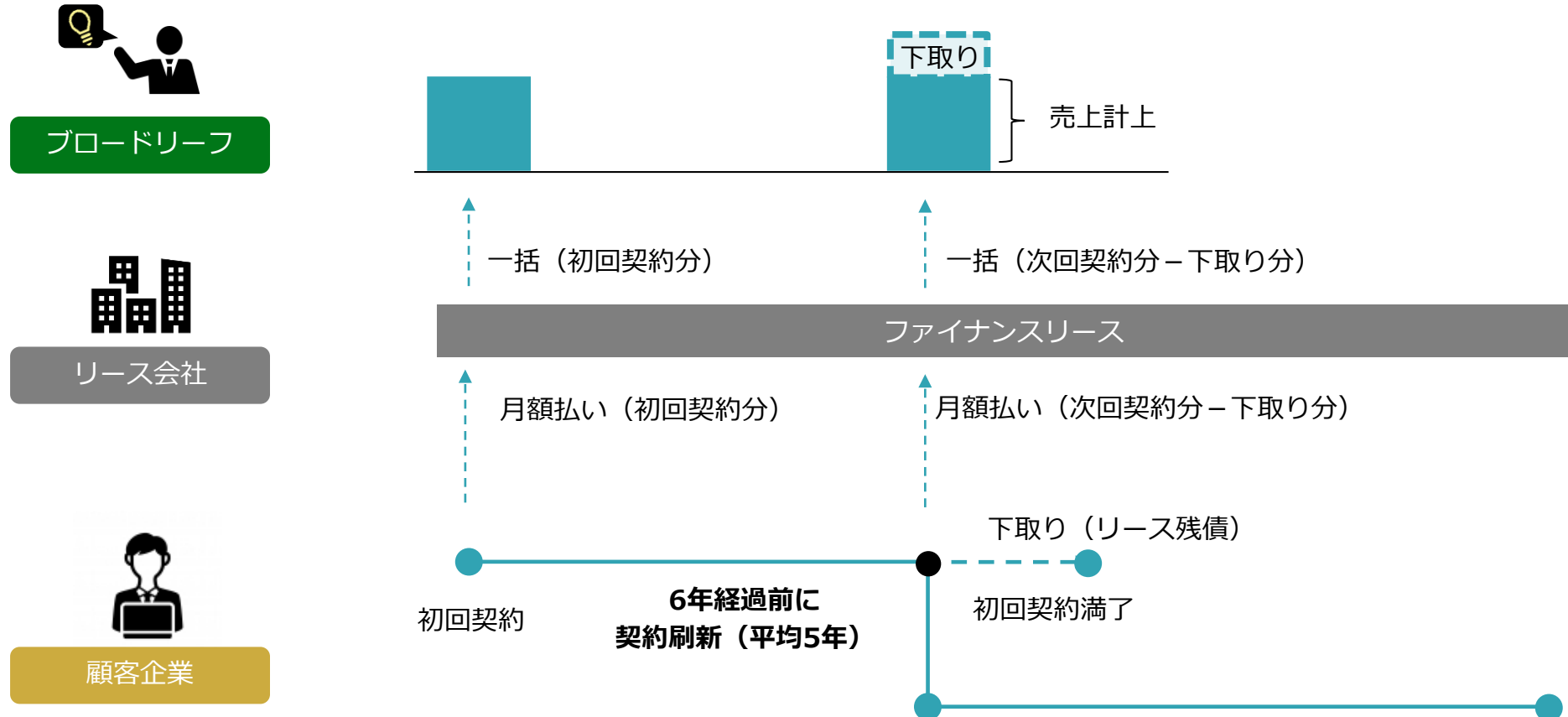
注) 顧客企業の業種によって提供サービス範囲が異なります。

サービス種類ごとに売上認識が異なるため、サービス種類と売上区分を対応



大半の顧客企業はリース契約を選択、
ソフトウェアの利用権購入期間（＝リース期間）満了前に、当社がリース残債を下取りする場合もある

6年契約の場合



本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

インベスター・リレーションズ室

E-mail : bl-ir@broadleaf.co.jp